要望は〝区長へ〟が1/3

問五　では、日常生活のうえで不満や要望が起こったとき、あなたはどのようにしますか。（一つ選ぶ）

市長へ手紙を出したり、直接申し入れる……一・七％
市役所の職員や担当課へ申し入れる……一一・〇
市民相談の窓口へ行く……三・七
市会議員や地元の有力者にたのむ……一三・五
区長へ申し入れる……三三・七
「市長懇談」などのときにいう……〇・四
その他……〇・七
何もしない（そのままにしておく）……二九・六
わからない……三・九
無回答……一・八

なるほど「何もしない」の割合いが高くなっており、特に二十代では「何もしない」が五三・五％もありました。

問五―一　右の質問で、「何もしない」と答えた方にお伺いします。それはなぜですか。（一つ選ぶ）

めんどうだから……一〇・一％
忙しいから……五・七
そのうちにやってくれるだろうから……二四・七
どうせやってくれないだろうから……五五・七
その他……三・八

「何もしない」理由として「どうせやってくれないだろうから」が、百五十八人中八十八人と多くありました。次に多いのが「そのうちにやってくれるだろうから」で二四・七％。「そのうちにやってくれるだろうから」は、男性（一九・二％）より女性（三〇・〇％）の方に多くみられました。

問六　市役所では毎月二回「広報にいっ」を発行しています。「広報にいっ」についてお聞かせください。（一つ選ぶ）

毎号よく読む……五七・一％
記事によっては読む……三六・五
あまり読まない……四・九
全然読まない……一・一
無回答……〇・四

「毎号よく読む」人は五七・一％。ただし「毎号よく読む」は二十代で三五・六％、六十歳以上で七六・四％と、年代によって大きな差が出ました。

なお今回の調査と単純な比較はできませんが、昭和五十年六月に行った「広報に関するアンケート」（街頭面接、対象者は一般成人二百二十人）の結果は次のとおりでした。

「毎回読んでいる」八一・四％　「ときどき読んでいる」一一・八％　「ほとんど読まない」六・八％

市政の動きは「広報」で

広報はみなさんとのパイプ役

問七　新津市政の動きや市役所の仕事についてですが、主に何から知識を得ていますか。（一つ選ぶ）

広報にいっ……七六・六％
市会議員を通じて……二・二
新聞……三・四
掲示板を見て……〇・四
町内会などの会合を通じて……二・四
人づてに聞いて……六・〇
政党や市民団体のチラシや機関紙……三・七
テレビ・ラジオ……一・三
市職員から……一・五
その他……一・一
無回答……一・四

「広報にいっ」に回答が集中しました。この傾向は、性別、年代別、地区別、居住年別にみても、ほぼ同様です。

問八　あなたは、市政について家族や知人、または近所の人たちと話し合うことがありますか。（一つ選ぶ）

よく話し合う……八・六％
ときどき話し合う……五三・九
ほとんど話し合わない……二八・一
話し合ったことがない……六・九
わからない……〇・六
無回答……一・九

「よく話し合う」、「ときどき話し合う」が合わせて六〇・五％でした。これを年代別にみると、二十代四一・六％、三十代六一・四％、四十代七〇・五％、五十代六九・六％、六十歳以上六七・四％となっており、市政に対する関心は中高年の方が高いことがわかります。

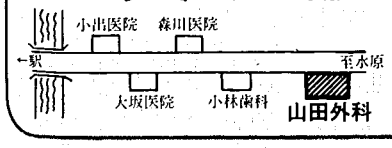
また「話し合ったことがない」は、居住年数が短いほど高い率を示しており、二年未満では一八・二％もあります。

なお前々回（五十年）にも同じ質問を行いましたが、そのときの結果は次のとおりでした。「よく話し合う」一三・二％、「ときどき話し合う」六二・七％　「ほとんど話し合わない」二〇・二％　「関心がない」二・四％

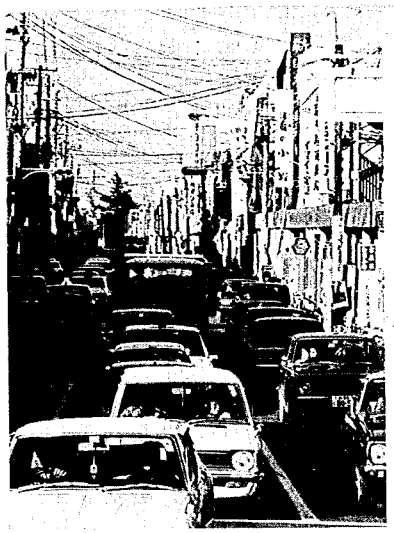
これを今回の調査結果と比べてみると、市政について「話し合う」のが減って、無関心が増えているのがうかがわれます。

お買物、ご用命は市内で

駐車場完備　胃腸・皮膚・肛門（ぢ）・泌尿・X線
山田外科医院
新町2丁目1―6　TEL(2)0432



高い〝交通〟への関心


交通問題に高い関心がうかがわれました

問八―一　右の質問で一や二にお答えいただいた方にお伺いします。話し合われる内容を次のうちから二つ選んでください。

税金……二八・一％
教育・文化……一九・二
商工業……六・〇
農林業……一〇・五
保健衛生……一二・六
土木・建築……四・八
社会福祉……一六・八
上水道……二・一
下水道……二四・六
防災……六・三
公害……三・三
交通……三八・〇
その他……五・四
無回答……二・三

回答の多かったものは「交通」、「税金」、「下水道」、「教育・文化」などでした。

性別による差はあまりみられませんが、年代別、地区別によって大分バラツキがあります。年代別にみた場合、回答が最も多いものは二十代、三十代、四十代、六十歳以上では「交通」、五十代では「税金」。また地区別にみると、新関地区、阿賀満地区、荻川地区、金津地区では「税金」が、小合地区、市街地、市街地周辺では「交通」がそれぞれ最も多くなっています。

問九　「私たちの住む新津市をもっとよくするためには、住民自身も市政について意見をのべたり、まちづくりに参加するべきだ」――という意見があります。あなたはどのように思いますか。（一つ選ぶ）

そのとおりだと思う……七七・〇％
そうは思わない……七・五
わからない……一二・五
無回答……三・〇

「そのとおりだと思う」は七七・〇％で、前回（五十二年）の八三・七％より若干比率が下がりました。

また男女別にみた場合、「そのとおりだと思う」は男性八一・九％、女性七二・五％と差がみられ、地区別でも新関地区五七・一％、阿賀満地区五二・九％と低いのが目立ちますが、年代別では大きな差はみられません。

なお前々回（五十年）は、質問の形式が今回とちょっと異なりますが、市政への住民参加については、「大いに必要」、「どちらかといえば必要」を合わせて八六・八％でした。

若い人に多い無関心

問九―一　右の質問で「そのとおりだと思う」と答えた方にお伺いします。あなたご自身ならどうされますか。（一つ選ぶ）

積極的に参加する……七・五％
機会があれば参加する……六〇・一
求められれば参加する……二九・〇
その他……二・四
無回答……一・〇

一番回答の多かったものは「機会があれば参加する」で、六〇・一％でした。しかし、「積極的に参加する」は、前々回（五十年）の一四・四％、前回（五十二年）の一二・三％よりさらに比率が下がり、七・五％にすぎませんでした。

また「積極的に参加する」は女性（三・八％）より男性（一〇・四％）の方に多くみられ、年代別にみた場合、二十代では「積極的に参加する」がわずか一・三％ときわめて低いのが目立ちます。

問一〇　ちょっと話は変わります。ゴミの収集や河川の美化、小さな路地の除雪など、市のほうから市民のみなさんに協力をお願いすることがありますが、市民のみなさんは、当然それに応じることが必要と思いますか。（一つ選ぶ）

大いに必要と思う……五二・一％
多少は必要と思う……四〇・八
あまり必要ないと思う……三・九
絶対に必要ないと思う……一・五
わからない……〇・六
無回答……一・一

「大いに必要と思う」が過半数の五二・一％です。男女別にみた場合、女性（四七・五％）より男性（五六・五％）の方が比率が高くなっています。また年代別では、年代が高くなるほど「大いに必要と思う」人が増えています。

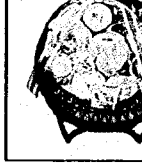
なお、前回（五十二年）は今回と違った形で質問を設けました。参考までにその結果を紹介してみると――

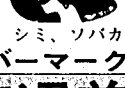
「ゴミ収集への協力は…」大いに必要…九〇・八％、多少は必要……七・一

「市の除雪計画以外の路地や通学路の除雪は…」除雪はすべて市でするべきだ……三〇・八％、それくらいは地域でするべきだ……二九・八、やれる範囲内で自分がやってもよい……三四・〇

（以下次号で紹介します）

お買物、ご用命は市内で


お祝い・お見舞・法事等に
"特選フルーツ詰合せ"
フレッシュでおいしい果物の店
やまいし
新津市本町3　TEL 3―0397


カット＆パーマ
御婚礼着付一般
アザ、シミ、ソバカスをかくし、水にとても強い
カバーマーク化粧品は当店で！
渡辺美容院 (2)0626
本町3丁目　能代川よりウラ通り